

平成23年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成24年3月末現在) (NO:1)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
1 土 (1)	H23.04.01 13:39 架空線・埋設物	道路	トンネル監査廊部分に積み上げていた埋戻砂を人力作業で除去していたところ、砂の中に埋設されている塩ビ管の中に切れかけたケーブルを発見し、誤って切断した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・切れかかったケーブルを発見した際、直ちに監督員への報告を行った。 ・埋設物の事前確認不足	・埋設物発見時の監督員への報告の徹底 ・埋設物の事前確認の徹底
2 土 (2)	H23.04.11 9:10 架空線・埋設物	道路	既設側溝取壊し作業を行っていたところ、既存側溝側壁底部に水道管が巻き立てられており水道管ジョイント部を破損し漏水した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・上水道が存在するという認識がなく確認を怠った。 ・管の管理者も埋設されているという認識がなかった。	・各埋設物管理者への確認を徹底する ・埋設管の適正な管理を徹底する。
3 農 (1)	H23.04.21 9:30 その他	農地	底樋トンネル内で、エンジン式の高圧洗浄機を使用していたところ、作業員が一酸化炭素中毒となった。 男 38歳、41歳、59歳 (一酸化炭素中毒)	・底樋トンネル内でエンジン式高圧洗浄機を使用 ・坑内の通気設備が不十分	・底樋トンネル内で内燃機関を有する機械を使用しない。 ・十分な通気設備を確保
4 土 (3)	H23.05.11 7:00 交通事故	道路	路面切削してある舗装に、豪雨や走行車両により穴が出来、一般車両が通行した際にホイールに傷がついた。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・路面切削後、直ちに舗装工を実施しなかった。 ・安全対策が不十分	・路面切削後は、直ちに舗装工を実施するよう徹底する。 ・安全対策の強化、徹底
5 農 (2)	H23.05.16 13:20 架空線・埋設物	農道	道路拡幅工事において、ガードレール支柱の打ち込み作業を行っていたところ、深さ約1.0mに埋設された水道管を損傷した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・正確な埋設位置が未確認。 ・下請業者の作業員に水道管の存在を知らせず作業を実施させていた。	・試掘を行い、目視による確認を行う。 ・施工箇所付近に埋設物がある場合は作業員への周知を図る。
6 土 (4)	H23.05.18 7:30 交通事故	道路	一般車両が舗装前の碎石擦り付け箇所(延長2m)を通行した際に、車のフロントバンパーを損傷した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・擦り付けを合材でなく碎石で実施して、交通開放を行った。	・合材による擦り付けを行い、段差が出来ないようにする。
7 林 (1)	H23.06.03 11:30 その他	治山	伐採木をグラップルのウィンチを使い作業道に引きずり出そうとしたところ、別の伐採木に引っ掛かり、木がはねて、近くにいた作業員の膝に当たり打撲した。 男 60歳(右膝打撲) 1週間の加療	・安全意識の欠如 ・集積作業時の異常事態に対する体制がとられていなかった。	・安全教育の徹底 ・安全対策の強化。
8 土 (5)	H23.06.04 11:20 転落	道路	ツル植物に絡まり垂れ下がっていた枝を、はしごを使い撤去作業をした後、はしごを降りる途中で踏み外して転落した。 男 63歳(右肘挫創、背部・右肩関節挫傷)	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底

平成23年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成24年3月末現在) (NO:2)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
9 土 (6)	H23.06.29 10:30 建設機械	災害	残土処理のためトラックにて土砂運搬をしていたところ、下り坂で運転操作を誤り、また、ブレーキも効かなくなりガードレールに衝突した。 (物損事故)	・フットブレーキの使いすぎにより、ブレーキが過熱して効かなくなった。	・エンジンプレーキ、排気ブレーキを駆使した走行を徹底する。
10 土 (7)	H23.06.29 16:20 その他	道路	当日は歩道の清掃作業を実施していた。16時から10分間休憩した後、作業員がふらついているのを世話役が発見し作業を中止させた。 男 58歳(熱中症)	・休憩場所の対策が不十分	・休憩場所に風通しの良い日陰の確保を行う
11 土 (8)	H23.07.11 11:30 その他	道路	国道の路肩を除草中に、草刈機により飛散した石が通行車両のフロントガラスに当たり傷がついた。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・作業着手前に飛散しそうな石等の障害物除去を未実施。 ・草刈機の回転刃と防護板の距離が離れていた。	・作業着手前の障害物撤去の実施を徹底する。 ・回転刃と防護板の距離を出来る限り近づける。
12 土 (9)	H23.07.12 21:00 交通事故	道路	歩車道境界ブロックと集水桝との間の段差処理がされておらず、この部分を一般車両が走行し、タイヤを破損した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底
13 土 (10)	H23.07.23 14:50 その他	道路	既設モルタルのクラックの深さを調査しようとロープを付けて法面を移動していたところ、1~2m上部から既設モルタルが剥がれて斜面に沿って落下し、その一部が作業員の右足に当たり負傷した。 男 37歳(右開放性下腿両骨幹部骨折)6ヶ月の加療を要す	・クラック発生箇所の上部の状態を十分に確認せず、下部から打音調査を行った後に法面を移動した。	・法面調査では左右いずれかの方向から回り込み、法面の上から下へ順次打音調査等を行い、不安定箇所の把握を行う。
14 土 (11)	H23.07.25 9:50 その他	道路	道路取得用地において草刈り作業中、作業員が手鎌にて自らの左手を殴打し裂傷させた。 男 30歳(左手背裂創、左示指伸筋腱部分断裂)約8週間の加療を要す	・安全意識の欠如	・安全教育の徹底
15 林 (2)	H23.07.25 13:45 建設機械	治山	バックホウのバケットに転石を積載して移動中、転石が許容量以上の重さのためバランスを失い、約1.7m下の河川へとバックホウごと転落した。 男 46歳(頭部・胸腹部打撲、外傷性頸部症候群)	・バックホウの性能を超えた重量の転石を運搬した。 ・安全意識の欠如	・事前に転石をブレーカーで碎き、不整地運搬車等にて運搬。 ・安全教育の徹底
16 林 (3)	H23.07.27 7:00 その他	治山	豪雨により工事用進入路に沢の水が浸入し、進入路表面の土砂が下方の県道へ流出した。 <b>公衆災害</b>	・想定を超える降雨により、沢の水が工事用進入路に流入した。	・沢の水をパイプにより廻水した。 ・緊急時の連絡体制を見直した。

平成23年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成24年3月末現在) (NO:3)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
17 土 (12)	H23.08.03 10:00 その他	道路	歩道の除草作業中、草刈機が跳ねた石が背面の擁壁に当たり跳ね返り、飛散防護板の上を越えて、反対車線の通行車両に当たった。 (物損事故) 公衆災害	・作業着手前に飛散しそうな石等の障害物除去を未実施。 ・現場状況に応じた草刈作業が実施されていなかった。	・作業着手前の障害物撤去の実施を徹底する。 ・背後の壁面から跳ね返りが発生する箇所では手刈を実施。
18 土 (13)	H23.08.11 14:30 その他	道路	路肩法面部の車道面より1m程度高い位置を草刈機で除草していたところ、石が飛び、飛散防護板の上を飛び越え、反対車線の通行車両に当たった。 (物損事故) 公衆災害	・除草前に飛散しそうな石等の除去を未実施。 ・高さ1mの法面除草で、防護板により飛散防止が困難。	・あらかじめ飛散しそうな石等の除去を徹底する。 ・防護板による防止が困難な場合、手刈による除草を実施。
19 林 (4)	H23.08.11 17:00 架空線・埋設物	林道	作業道から残土処理場にバックホウを入れるため、進入口でアームを地面から1.0m程度上げた状態でバックホウを旋回した際、ブームとアームのつなぎ目に上水道の通信線を引っ掛け、切断した。 (物損事故) 公衆災害	・残土処理場への進入口を通信線の真下に設置した。 ・誘導員を配置していなかった。	・残土処理場への進入口を通信線が真上にない箇所に設ける。 ・通信線近接箇所で作業する場合は誘導員を配置する。
20 土 (14)	H23.08.26 15:30 その他	河川	歩道整備施工区間で、工事のため一部側溝部分のみを通行させる状況としていたところ、自転車に乗車し歩行者通路を通行しようとした被害者がバリケードに接触し転倒した。男 62歳(左腸骨部、左足関節部、左胸部打撲)約1週間の加療を要す	・歩行者、自転車への配慮が不十分であった。	・交通誘導員の適正配置、的確な誘導を徹底 ・保安施設の通行者視点での配置の徹底
21 都 (1)	H23.08.29 15:20 その他	下水道	発砲スチロール型枠付近で溶接作業を行ったところ、火花が飛び、発砲スチロール型枠に引火して出火した。 (物損事故)	・安全意識の欠如 ・安全対策が不十分	・安全教育の徹底 ・安全対策の強化、徹底
22 土 (15)	H23.08.30 10:00 その他	砂防	作業員が鋼製型枠の組立作業中に通り出し位置の修正を行うため、金槌を使っていたところ手元が狂ってはずれ、作業員自身の右下腿部を誤って強打した。 男 59歳(右下腿膿瘍、皮下血腫)約3週間の治療を要す	・安全意識の欠如	・安全教育の徹底
23 土 (16)	H23.09.01 14:00 その他	道路	片側交互通行を実施して路肩除草作業を行っていたところ、石が飛び、停止させていた車両のフロントガラスに当たった。 (物損事故) 公衆災害	・草刈機の回転刃と防護板との距離が離れていた。 ・地面ぎりぎりまで草刈りの刃を当てて実施していた。	・回転刃と防護板の距離を出来る限り近づける。 ・草の刈り高を地上高5cm程度で実施する。
24 林 (5)	H23.09.06 13:30 その他	治山	型枠組立作業において、型枠を固定するための控え用鉄筋を底面地山に打ち込む作業を実施していたところ、左足側の地山が崩れ、またいでいた鉄筋に座る様な状態になり、右大腿部に鉄筋が刺さった。 男 62歳(右大腿挫滅創)10日間の加療を要す	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底

平成23年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成24年3月末現在) (NO:4)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
25 土 (17)	H23.09.17 7:50 その他	災害	高校生が自転車で通学中、舗装道路の保護のため設置していた敷鉄板の上で滑って転倒し、被災者のメガネ、自転車を損傷した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	通行止看板は設置していたが、事故発生時、バリケードによる物理的な通行止対策が行われていなかった。	・バリケードによる物理的通行止めの強化、徹底
26 都 (2)	H23.09.24 9:40 その他	建築	鉄骨溶接部のグラインダー仕上げ作業中、スイッチを切り、手を持ちかえようとした時、手から滑り落ち、惰性で廻っていた歯により太ももを裂傷した。 男 40歳(大腿部裂傷)	・作業手順が守られていなかった。 ・安全対策が不十分	・作業手順ごおりの作業を徹底 ・安全対策の強化、徹底
27 土 (18)	H23.09.28 17:30 その他	道路	根固部のコンクリート打設を実施したところ、床面からの少量の湧水にコンクリートのアクが混入し、締切により少量の少なくなった河川下流部に流入したため水質が強アルカリ性となり、魚類が死んだ。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底
28 農 (3)	H23.09.30 11:40 その他	農地	U字溝布設のための床掘作業中に丁張をまたいだ際、天端通り釘に右ひざ後部を刺した。 男 44歳(右膝部刺創、右膝蜂窩織炎)	・作業通路が確保されていなく、丁張が設置してある段差落差工の床掘部分をまたいで移動していた。	・作業通路を確保するが、できない箇所では丁張横板を跳ね上げ可能な構造とし、またぐ必要をなくす。
29 土 (19)	H23.10.05 18:30, 19:50 交通事故	道路	既設舗装の切削を行い、夜間道路開放していたところ、降雨等により路面に穴ぼこが発生し、そこを一般車両が通過してタイヤがはまり、パンクを起こした。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・路面切削から舗装までに期間が空く施工手順だった。 ・安全管理が不十分。	・路面切削した状態で交通開放を行う区間と期間が少なくなるよう施工工程を組む。 ・安全管理の強化、徹底
30 土 (20)	H23.10.07 9:40 立木処理	道路	工事車両の通行に支障となる山の立木を伐採していたところ、想定外の民地側へ倒れ出し、民地内にあった小屋の屋根を破損した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底
31 土 (21)	H23.10.26 9:20 交通事故	道路	運行バスが舗装補修工事区間に進入した際に、舗装前準備のため路面に設置した釘を踏み、右前タイヤがパンクした。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・交通整理員の配置が不十分だった。 ・設置した釘を一般車両が識別できる表示がなかった。	・施工範囲に応じた交通整理員の配置変更を実施する。 ・ポストコーンを設置し一般車両が識別しやすい措置を行う。
32 土 (22)	H23.10.31 8:40 その他	道路	地質ボーリングの掘進作業中に作業員の上部にあったボーリングロッドのジョイント部が掘進時の振動により外れ、ロッドが落下し、作業員のヘルメットを直撃した。 男 42歳(頭部外傷1型 頭部割創) 約1週間の加療を要す	・スピンドル上部に接合部を含んだロッドを立ち上げた状態でスピンドルを回転させた。	・掘進作業時にはスピンドル上部にロッドの接続部を設けないようにする。

平成23年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成24年3月末現在) (NO:5)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
33 土 (23)	H23.11.03 8:55 交通事故	道路	交差点付近においてガードマンを配置し片側交互通行規制により区画線の設置作業を行っていたところ、一般車両がガードマンと接触した。 男 59歳(脳挫傷)	・被災した交通整理員の役割が多く、加害車両が近付いたことに気が付くことが遅れた。	・施工箇所に応じた交通整理員の増員、配置変更を実施する。
34 土 (24)	H23.11.09 11:15 その他	道路	街路樹の剪定枝をパッカー車へ集積し操作スイッチを作動させた後、投入口にカラーコーンが挟まっていることに気づき、慌てて取り出そうとしてそのまま回転板に右腕を挟まれた。 女 63歳(右橈骨開放骨折、右肘部挫減傷) 全治2ヶ月を要する	・安全意識の欠如	・安全教育の徹底
35 土 (25)	H23.11.17 17:05 建設機械	災害	舗装工事において、作業員が現場代理人と打合せをするため、現場内にいた現場代理人に近づいた際に、擦り付け部の仕上げ転圧を行っていた振動ローラーの運転手が左方向に気をとられ、右方向への注意を怠り接触した。 男 57歳(左足関節挫創)	・安全意識の欠如	・安全教育の徹底
36 土 (26)	H23.11.25 10:00 転落	道路	ポケット式落石防護網工事において、作業員が高さ約10mのところ で作業中に道路面へ転落した。 男 33歳(右上腕骨大結節骨折等) 約6週間の加療を要す	・墜落防止対策が不十分	・墜落防止対策の強化、徹底
37 土 (27)	H23.12.01 14:00 建設機械	道路	駐車待機していた工事車両(4t移動式クレーン)を作業員がハンドルを左に切って前進させる際、建物の外周フェンスと門扉に車両右側後部が接触した。 (物損事故) 公衆災害	・運転者の周囲確認不足 ・誘導員の配置を怠った。	・安全教育の徹底 ・狭い場所から車両を移動させる際は誘導員を配置する。
38 都 (3)	H23.12.02 13:32 その他	建築	作業員が外溝工事の為の仮囲い作業をしていたところ、ガードフェンスを倒し、交通誘導員の指示に従って停止位置で停止していた一般車両にフェンスが接触した。 (物損事故) 公衆災害	・2人1組での作業が守られず、1人の作業員が単独で作業した。	・作業手順書を作成し、作業員に周知徹底を図った。
39 土 (28)	H23.12.03 16:05 架空線・埋設物	道路	土砂搬入のため、ダンプトラックが仮設道路を後進中、電柱に接触した。 (物損事故) 公衆災害	・ダンプトラック運転手の後方確認不足 ・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底
40 農 (4)	H23.12.15 12:18 架空線・埋設物	農地	クレーン付きトラックで現場に資材を搬入し、荷台から下ろす作業をしていたところ、トラック上空にあった街路灯用の架空線にクレーンが接触し、電線を切断した。 (物損事故) 公衆災害	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底

平成23年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成24年3月末現在) (NO:6)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
41 土 (29)	H24.01.20 14:50 転落	道路	支保工から梯子にて降りようとした際、支保工と梯子を固定してあった番線が緩んで外れ、梯子がずれたため、体のバランスを崩して作業員が1.8m下へ転落した。 男 46歳（左橈骨遠位端骨折等）約2カ月の加療を要す	・梯子の固定方法の不備	・梯子の固定方法の周知徹底 ・管理体制の改善
42 土 (30)	H24.01.23 14:08 その他	災害	現場で法面の掘削作業中、掘削に伴い発生した落石が通行中の乗用車にあたった。 (物損事故) 公衆災害	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底
43 土 (31)	H24.01.31 14:10 架空線・埋設物	道路	鉄筋の積み下ろし作業に伴う移動の際に、ユニックのクレーンを上げた状態で移動させたため、アームが架空線に接触し、破断させた。 (物損事故) 公衆災害	・安全意識の欠如	・安全教育の徹底
44 土 (32)	H24.02.08 11:10 架空線・埋設物	道路	既設水路取壊しの際に、水路直下に存在した水道管の引き込み管を破損させた。 (物損事故) 公衆災害	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底
45 土 (33)	H24.02.15 14:20 架空線・埋設物	道路	雪崩防護柵及び落石防護柵に積もった雪を降ろすため、高所作業車を搬入しようとしたところ、バックホウが支障となり、バックホウを移動しようとしたところ、電柱の支線にバックホウのアームが引っ掛かり、その反動で電柱が折れた。(物損事故) 公衆災害	・安全意識の欠如	・安全教育の徹底
46 土 (34)	H24.02.17 7:30 交通事故	道路	除雪作業中、除雪ドーザにより棧橋縦方向の伸縮装置を破損させ、運転手はこれに気づかず、路上に破損した伸縮装置の鉄板が放置された。その後、一般車両が路上の鉄板を発見したものの避けきれず、車に衝突し、車体に傷が付いた。(物損事故) 公衆災害	・安全意識の欠如	・安全教育の徹底
47 土 (35)	H24.02.20 9:30 その他	道路	車道路肩部にカラーコーンを置き、交通誘導員をつけた状態で、作業員が長さ4mの鉄筋3本を担いで運搬し、荷降ろしする際に、鉄筋の端が通行中の乗用車のドアミラーと窓枠に接触した。 (物損事故) 公衆災害	・作業員が一人で長尺の資材を運搬し、資材が車道側に飛び出ていることに気づかず作業を行っていた。	・長尺資材は2人で運搬するなど、資材の形状を考慮し、安全に運搬できる人数で作業を行う。
48 農 (5)	H24.02.27 14:35 架空線・埋設物	農地	排水路沿いに転落防止柵の設置作業を実施していたところ、打ち込んだ支柱が地下埋設物の水道管に接触し水道管が破損した。 (物損事故) 公衆災害	・事前の地下埋設物調査が不十分	・地下埋設物に関する聞き取りや現地調査を行い埋設物の有無や位置の確認を確実にを行う。

平成23年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成24年3月末現在) (NO:7)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
49 土 (36)	H24.02.28 8:17 その他	災害	<p>施工箇所の上部既設ブロックが崩壊し、付近で作業中の作業員が被災した。</p> <p>男 45歳 (右脛骨骨幹部開放骨折等) 約3カ月の加療を要す 男 25歳 (左足関節打撲) 1週間の治療を要す</p>	・安全対策が不十分	・安全対策の強化、徹底
50 土 (37)	H24.03.14 11:20 その他	道路	<p>ダンプトラックの後部ゲートを開けようと作業員が後部ゲートをつかんだ際にバックホウが後部ゲートを閉じようと押さえたため、作業員の親指がゲートに挟まり負傷した。</p> <p>男 49歳 (左母指切断) 1カ月以上の加療を要す</p>	・作業手順書に無い作業時の連絡合図・確認が徹底されていなかった。	・作業手順書に無い作業が発生した場合は、一度作業を止め、その場で打合せを実施し、作業方法・役割分担等を定める。